

一 銀御鉢 五

一 銀御湯漬鉢 一

一 カラ金大鉢 六

一 カラ金小鉢 十

一 錫御鉢 十

一 錫御鉢 十

一 大錫鉢 十

一 錫御鉢 十

一 錫御鉢 十

松平土佐守忠義

井伊掃部頭直孝

松平肥前守忠直

堀美作守親昌

津輕土佐守信茂

内藤兵部少輔

織田上野介

堀左門

〔昨日波今日能物語〕<sup>上</sup>一 又ある坊主のすゞのはちにて、なますをあゆる所へ、人の來れば、ふと立てかくさんとすれど、まぢかくなれば、あたまにいたゞき、まづ此なりにづきん、女共にぬはするが、何と御座らふといはれた。

〔鶉衣 前篇上〕餅辭

水無月の朔日は氷餅とて、やごとなき上ツがたにも、もてはやし給ふに、草葉もよらる、土用の比、水餅の錫鉢にうかび出でたるぞ、上戸の玄らぬすゞしきなりけり。

〔物類稱呼器用〕<sup>四</sup>木鉢。きばち。江戸にてきばち、京にてひきばち、越後にてふくばち、土佐にてきばちといふ。

〔東大寺正倉院御寶庫御開封記録〕御寶物目錄

一 木鉢 一

〔類聚雜要抄〕<sup>三</sup>五節雜事〔行事所雜物等